

堂谷津の里 自然だより

2020年 3月



2020. 3. 1

どこかで春が・・・♪♪。冬ごもりしていた虫たちが地中から這い出してくるころ、温かい日と冷たい風の日が交代でやってきます。ウグイスのさえずりが谷津にこだまし、アカガエルは卵からオタマジャクシに。寒さを耐えた生きものたちが一斉に活動しはじめるのもまもなくです。



早春の堂谷津の里を歩いてみました。



ニホンアカガエルのオタマジャクシ

＜季節メモ＞ 春告鳥「ウグイス」
今年のウグイスの初鳴きは2月24日。初めは鳴くのが下手、「ぐぜり鳴き」といいます。野鳥などの恒温動物は、一日のうちの昼の時間の長さで季節を知ると言われています。確かに日の長さは季節の移り変わりのまぎれもないしるしです。鳥たちはそれがわかっていて、日長で「春を数えている」のです。昼の時間が長くなると体内に分泌されるホルモンの種類や量が違って、オスがさえずりを始めるのだそうです。
写真・編集：晝間